

自然を破壊するメガソーラーの中止を！

伊東メガソーラー建設の中止を求める会
info@ito-ms.chu.jp

◆八幡野・赤沢地区に、一大メガソーラー=太陽光発電所が作られようとしています。名鉄・赤沢分譲地を囲むように、北方から東方にかけて広大な山林を伐採して、約12万枚の太陽光パネルを設置する計画です。敷地面積104ヘクタールのうち、48ヘクタール(東京ドーム10個分の広さ)を造成しパネルを敷き詰めます。県内最大規模の発電量(40.7メガワット)で東京電力に売電します。会社は「伊豆メガソーラーパーク合同会社」で東京に本社があります。

◆もし、この計画が実行されたらどのような影響があるのでしょうか。

- ・ 広大な範囲で樹木が伐採され森林の保水力が低下し、洪水や土砂流失の危険が高まる。
- ・ 台風がもたらす強風で太陽光パネルが飛ばされ、近隣住宅や畑に被害をもたらす。
- ・ 大量の除草剤が使われ、土壌を劣化させ、化学物質が雨水により海を汚染し、漁業とダイビングに打撃を与える。
- ・ 森に棲む生物から生息地を奪い、魚付き林の伐採で水産資源に影響を与える。
- ・ 伊豆の自然景観を壊し、観光資源としての価値を引き下げる。
- ・ パネルの熱によって周囲の気温が上昇する。

以上のような心配があります。

他方、地元経済にどんなメリットがあるのでしょうか。

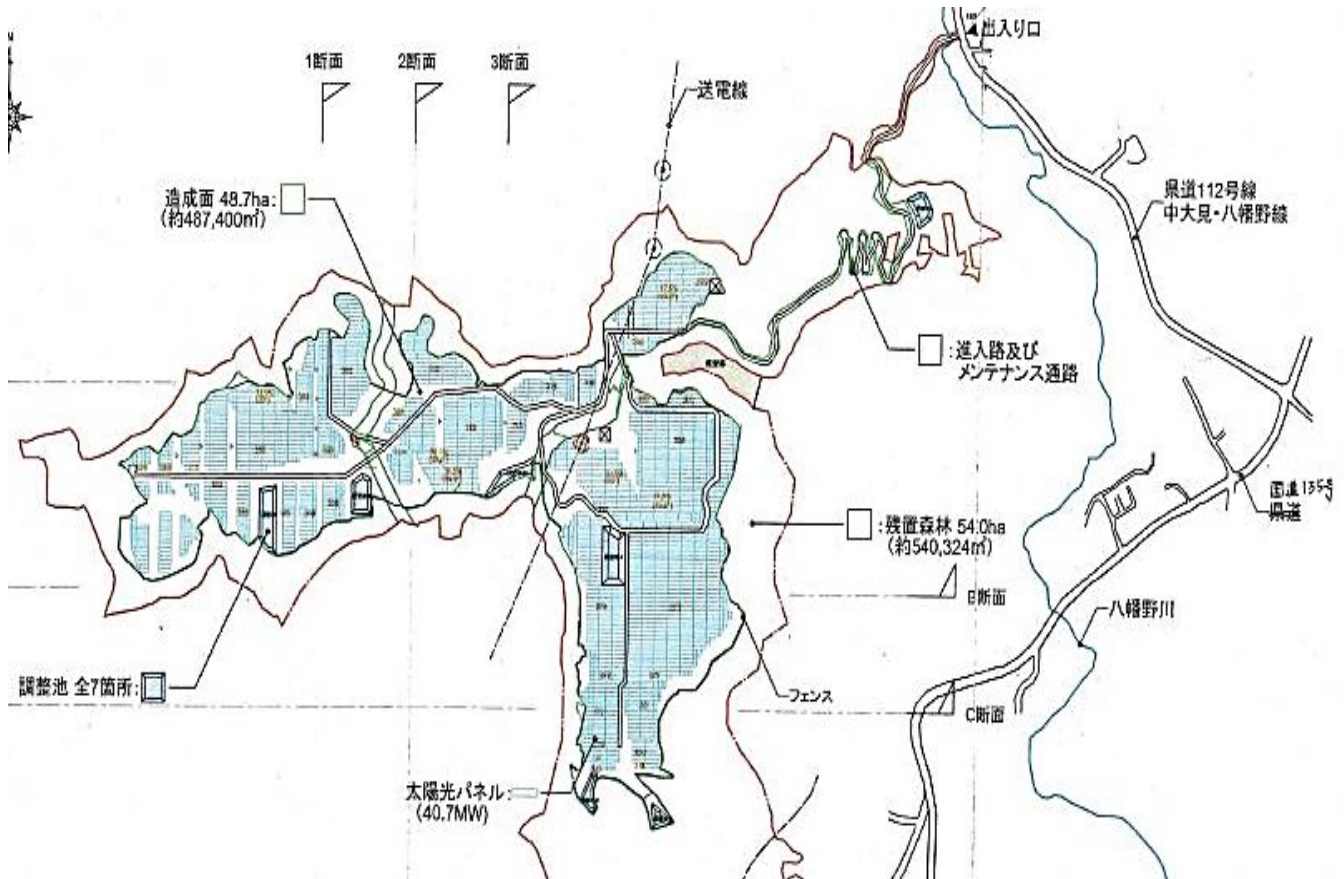
メガソーラーは保守点検の必要がわずかであるため地元雇用機会を生みず、サービスを提供しません。固定資産税がいくらか増えるとしても、地元への恩恵はほぼゼロに等しいといっていでしょう。

固定価格買取制度の期間は20年間です。事業が引き合わなくなった時、事業会社は現地をどう始末するのでしょうか。12万枚もの劣化したパネルがそのまま放置されるのでしょうか。破壊された森林は復旧するのでしょうか。後にはゴミの山だけが残されることにならないのでしょうか。

◆現在、自然エネルギーへの注目が高まっていますが、自然エネルギーのために自然を破壊するのは本末転倒です。豊かな伊豆の自然を後世に残すのは私たちの責務です。貴重な財産である自然を守り、自然によって守られている私たちの生活を守るために、自然破壊を伴うメガソーラー建設を力を尽くしてストップさせなくてはなりません。そのため、私たちはさまざまな市民と市民団体を横につなぐ「メガソーラー建設の中止を求める会」を立ち上げました。メガソーラー建設に反対される方は、是非賛同者となっていたただいて、一緒にメガソーラー・ストップの活動に加わってください。



↓【事業計画図】青色部分が太陽光パネル、総数 12 万枚



【賛同者は当会へのご登録をお願いします】

- (1) ご登録いただいた個人情報は活動の連絡や報告に使うためのものです。他の目的には一切使用しません。
- (2) 登録はなるべくメールでお願いします。
- (3) メールでの登録（携帯メールOK）：あて先 info@ito-ms.chu.jp に、**お名前・電話番号・アドレス・匿名扱いの有無** を書いてお送り下さい。
件名は「メガソーラー反対」として下さい。
- (4) メール以外での登録：以下の個票を切り取って郵便もしくは八幡野の「いわかみ書店」にお持ちください。
事務局：伊東メガソーラー建設の中止を求める会
住所：〒413-0231 伊東市富戸 1317-1574 （携帯：080-5480-6950）

切り取り線

賛同者個票

| | | |
|--------------|-----------------------------|---|
| お名前 | 住所 | 〒 |
| 電話 (携帯も可) | 郵便希望 (○) 賛同者会議開催日のお知らせのみ | |
| 備考 | 所属団体名・匿名扱いなどの必要事項をお書きください。 | |